



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月8日

上場会社名 オカダアイオン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6294 URL http://www.aiyon.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻田 俊幸
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 前西 信男 TEL 06-6576-1281
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	12,911	20.5	1,197	26.6	1,229	30.0	756	81.9
30年3月期第3四半期	10,715	16.6	945	21.7	946	21.9	416	△13.3

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 775百万円 (73.8%) 30年3月期第3四半期 446百万円 (6.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	93.22	92.33
30年3月期第3四半期	60.42	59.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	20,146	10,079	49.7	1,233.65
30年3月期	19,706	9,486	47.8	1,161.82

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 10,019百万円 30年3月期 9,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	0.00	-	24.00	24.00
31年3月期	-	0.00	-	-	-
31年3月期(予想)	-	-	-	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

31年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭 記念配当 2円00銭

配当予想の修正につきましては、本日(平成31年2月8日)公表いたしました「配当予想の修正(記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	13.6	1,500	25.5	1,500	18.0	930	39.6	114.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	8,378,700株	30年3月期	8,378,700株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	256,671株	30年3月期	269,471株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	8,117,851株	30年3月期3Q	6,885,447株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、相次ぐ自然災害により一時的に個人消費・設備投資・輸出それぞれに影響を受けたものの、その後持ち直し、企業収益や雇用所得環境は概ね堅調に推移し、緩やかな回復基調を持続いたしました。また、世界経済も先進国を中心に堅調を維持いたしました。一方では米中貿易摩擦の影響や米国利上げに伴う新興国経済への影響が出始めるとともに、英国Brexitの先行きや地政学リスク等も相まって、先行き不透明感が高まる状況となりました。

このような環境のもとで当社グループは、主力商品の圧砕機、環境関連機器、油圧ブレーカの販売に注力しました結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高12,911百万円（前年同期比20.5%増）、営業利益1,197百万円（前年同期比26.6%増）、経常利益1,229百万円（前年同期比30.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益756百万円（前年同期比81.9%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の経営成績は次のとおりであります。

国内セグメントは、売上高全体で8,492百万円（前年同期比8.3%増）となりました。機種別には、主力の圧砕機は旺盛な再開発や建替え需要を背景に売上高は4,574百万円（前年同期比9.4%増）、環境機械は排ガス規制の影響も薄れ順調に売上を伸ばした結果923百万円（前年同期比29.8%増）となりました。一方、油圧ブレーカは戦略商品の売上寄与はあったものの売上高は596百万円（前年同期比9.3%減）となりました。また、原材料売上高は868百万円（前年同期比2.3%減）及び修理売上高は570百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

海外セグメントは、拠点・代理店の拡充を背景に北米・アジア・欧州ともに堅調に伸ばし売上高は2,473百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

南星セグメントは林業機械、スクラップ用機械、ケーブルクレーンを中心に販売に注力し、売上高は1,945百万円（前年同期比151.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、20,146百万円（前連結会計年度末19,706百万円）となり440百万円増加しました。受取手形及び売掛金が612百万円、現金及び預金が184百万円それぞれ減少しましたが、商品及び製品が745百万円、原材料及び貯蔵品が426百万円、仕掛品が138百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、10,066百万円（前連結会計年度末10,220百万円）となり153百万円減少しました。支払手形及び買掛金が140百万円増加しましたが、流動負債のその他が139百万円、未払法人税等が157百万円それぞれ減少したことが主な要因です。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、10,079百万円（前連結会計年度末9,486百万円）となり593百万円増加しました。剰余金処分として配当の支払194百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益756百万円を計上したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階において平成30年5月11日に公表いたしました通期の見通しを変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,475,332	3,291,283
受取手形及び売掛金	5,178,229	4,565,817
商品及び製品	2,504,628	3,250,457
仕掛品	150,798	288,947
原材料及び貯蔵品	1,976,622	2,402,994
その他	554,970	501,190
貸倒引当金	△13,256	△11,646
流動資産合計	13,827,324	14,289,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,146,943	2,054,301
機械装置及び運搬具(純額)	643,941	615,293
土地	1,899,798	1,900,765
その他(純額)	74,311	224,429
有形固定資産合計	4,764,995	4,794,789
無形固定資産		
のれん	188,522	157,102
その他	193,368	183,198
無形固定資産合計	381,891	340,300
投資その他の資産		
投資有価証券	331,967	287,902
繰延税金資産	315,181	342,085
その他	136,951	147,679
貸倒引当金	△52,223	△55,415
投資その他の資産合計	731,876	722,250
固定資産合計	5,878,763	5,857,341
資産合計	19,706,088	20,146,388

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,668,035	3,808,325
短期借入金	3,853,125	3,855,510
1年内返済予定の長期借入金	323,006	268,800
未払法人税等	357,907	200,482
賞与引当金	146,077	104,197
その他	744,067	604,429
流動負債合計	9,092,218	8,841,744
固定負債		
長期借入金	610,800	690,450
退職給付に係る負債	460,809	481,868
その他	56,215	52,441
固定負債合計	1,127,824	1,224,760
負債合計	10,220,043	10,066,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,221,123	2,221,123
資本剰余金	2,238,322	2,252,184
利益剰余金	4,964,077	5,526,217
自己株式	△75,864	△72,268
株主資本合計	9,347,657	9,927,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,047	45,291
繰延ヘッジ損益	△327	△33
為替換算調整勘定	△1,907	47,208
その他の包括利益累計額合計	73,812	92,466
新株予約権	64,574	60,158
非支配株主持分	—	—
純資産合計	9,486,044	10,079,882
負債純資産合計	19,706,088	20,146,388

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	10,715,392	12,911,630
売上原価	7,587,725	9,029,149
売上総利益	3,127,667	3,882,480
販売費及び一般管理費	2,181,682	2,684,889
営業利益	945,984	1,197,590
営業外収益		
受取利息	3,206	2,485
受取配当金	7,683	8,292
為替差益	—	3,790
固定資産売却益	6,139	18,998
その他	19,725	29,771
営業外収益合計	36,755	63,338
営業外費用		
支払利息	18,522	19,400
為替差損	10,499	—
その他	7,620	11,821
営業外費用合計	36,641	31,221
経常利益	946,097	1,229,707
特別損失		
固定資産除却損	18,620	12,767
製品補償関連費用	13,918	—
貸倒引当金繰入額	87,598	—
債務保証損失	121,726	—
特別損失合計	241,864	12,767
税金等調整前四半期純利益	704,233	1,216,940
法人税等	288,202	460,178
四半期純利益	416,030	756,762
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	416,030	756,762

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	416,030	756,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,245	△30,755
繰延ヘッジ損益	10,137	293
為替換算調整勘定	△4,135	49,115
その他の包括利益合計	30,247	18,654
四半期包括利益	446,278	775,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	446,278	775,416
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	南星	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,838,981	2,102,632	773,779	10,715,392	—	10,715,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	275,355	221	—	275,577	△275,577	—
計	8,114,337	2,102,853	773,779	10,990,970	△275,577	10,715,392
セグメント利益又は損失(△)	642,760	353,635	△13,937	982,459	△36,475	945,984

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△36,475千円の内訳は、子会社株式の取得関連費用△25,800千円、のれんの償却額△10,473千円及びセグメント間取引消去△201千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	南星	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,492,060	2,473,697	1,945,871	12,911,630	—	12,911,630
セグメント間の内部売上高 又は振替高	420,197	680	25,490	446,368	△446,368	—
計	8,912,258	2,474,378	1,971,362	13,357,998	△446,368	12,911,630
セグメント利益	756,063	394,986	79,180	1,230,230	△32,639	1,197,590

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△32,639千円の内訳は、のれんの償却額△31,420千円及びセグメント間取引消去△1,219千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。